

大震災等の災害発生時の対応について

山梨県小中体連ソフトテニス専門部

1. 連絡系統の確立

関係する各学校または顧問	参加生徒と家庭間	大会本部（県小中体連事務局）
<ul style="list-style-type: none">・会場にいる顧問については、放送で指示をする。（停電に備え、ハンドマイクを準備しておく。）・各学校については、電話またはメールで通信する。	<ul style="list-style-type: none">・電話またはメールで通信する。・インターネットが使用可能な場合は、山梨県ソフトテニス連盟のHPに状況を随時記入していく。	<ul style="list-style-type: none">・電話またはメールで通信する。・連絡がつかない場合は、二次避難所に移動後、安全に気をつけて、役員が車で連絡をする。そこで、報道機関への連絡方法を探る。

一次避難	二次避難
<ul style="list-style-type: none">・身を伏せる → 地震がおさまったら、テニスコート中央付近に移動する。 → 学校・チームごとに、顧問が人員の確認をする。	<ul style="list-style-type: none">・避難所である石和中学校グラウンドに移動し、人員の確認をする。・安全確認が済み次第、石和中校舎または体育館に移動して待機する。・自力で帰れる者以外は保護者の迎えを待つ。

3. その他事前に配慮しておくこと

<ul style="list-style-type: none">・石和中学校が避難所になっていることを、顧問を通じて保護者に知らせておくことが不可欠であること。・山梨県ソフトテニス連盟の掲示板の存在を周知しておく。 <p>http://www.kai.ed.jp/st/</p>
